

株式会社リクルートライフスタイル沖縄より 最新の取組み報告

(株) リクルートライフスタイル沖縄
代表取締役社長 有木真理



沖縄最新動向（じゃらん・グルメ・ビューティ）と 沖縄県内の観光振興に向けた取り組み

世界中が

未曾有の危機

消費の【量】と【質】の増加

沖縄の社会的な【負】の解消

リクルートライフスタイル沖縄ができること



沖縄最新動向（じゃらん・グルメ・ビューティ）と 沖縄県内の観光振興に向けた取り組み

沖縄最新動向（じゃらん・グルメ・ビューティ）と 沖縄県内の観光振興に向けた取り組み

2020Withコロナマーケットと共に…

Press Release



2020年7月3日

株式会社リクルートライフスタイル



「新型コロナウイルス感染症による旅行市場への影響」調査より 国内宿泊旅行の需要の変化

**夏休み（7月中旬～8月頃）前までは「宿にこもる旅」「屋外型旅行」が人気
夏休みはファミリー旅行需要増、本格的な国内宿泊旅行の回復は2020年秋以降か**

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：渡野 健）の観光に関する調査・研究、地域振興機関「じゃらんリサーチセンター」（センター長：沢登 淑彦）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の旅行業界への影響を旅行者の視点から取り、地域および宿泊施設を主とした今後の回復期に向けた具体的な施策に役立てていただくために、「新型コロナウイルス感染症の旅行市場への影響」調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

調査トピックス

旅行時期別に見た希望する国内宿泊旅行の目的、旅行スタイル P.3

夏休み前までの旅行は「宿にこもる旅」「屋外型旅行」が多い特徴
秋になると「宿泊施設にとどまりあまり出歩かない旅行」の割合は減るが、
「自家用車で移動する旅行」は時期を問わず需要あり

- 【夏休み前】
- 男性20代で旅行を希望する人が17.1%と高い
 - 希望する旅行スタイルは「自家用車で移動する旅行」が最も高く56.2%。他の時期と比べて「居住地の都道府県内の旅行」（32.6%）や、「宿泊施設にとどまり外をあまり出歩かない旅行」（22.5%）が高い。
 - 旅行目的は「地元のおいしいものを食べる」（52.8%）、「温泉や露天風呂」（46.1%）「宿でのんびり過ごす」（40.4%）が上位。他の時期と比べて「まちあるき、都市散策」（25.8%）や「花見や紅葉などの自然観賞」（21.3%）など、屋外型旅行が人気。

- 【夏休み中】
- 若年層に加えてファミリー旅行の需要が高まり、夏休み前と比べて「テーマパーク」（24.3%）目的の割合が高くなる。

- 【秋～年末】
- 男性60歳以上、女性50代で旅行を希望する割合が高まる
 - 「宿泊施設にとどまりあまり出歩かない旅行」の割合は減少する一方、「自家用車で移動する旅行」はいずれの時期においても50%以上が希望している。

- 【2021年以降】
- 「飛行機で移動する旅行」（31.0%）や、目的では「買い物、アウトレット」（25.7%）などの需要が高まる。

旅行者が施設に求める感染症防止対策 P.4

- 感染症防止対策の徹底は大前提。対策を事前に告知してほしいという声も多い
- 旅行者が宿泊施設に対して求める感染症防止対策は「従業員がマスク・消毒を徹底して行っている」（56.7%）が最も高い。
 - 感染症防止対策を講じるだけでなく、その情報を告知してほしいという声も多い。



～じゃらんリサーチセンター 研究員の解説～
調査結果からは、国内宿泊旅行の本格的な回復は、シニア層の旅行需要が前年2020年秋以降となりそうです。また、宿泊施設などの感染症防止対策は対策を講じるだけでなく、宿泊予約前に告知することが重要で、そのことが結果的に集客にもつながると思われます。
じゃらんリサーチセンター 研究員 森戸 幸子 ※解説の詳細は5ページ

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

Press Release

-1-



**衛生対策の徹底は大前提。今後の旅行検討行動の重要な指標の一つ
に地域で連携し、新しい「観光のにぎわい」を模索する時代に！**

調査結果のコメントから、旅行者は施設に対して従業員による消毒や検温など感染防止対策の徹底を求めており、きちんと対策を講じている施設を選びたいという意見が多く見られた。

衛生対策は今後旅行を検討する際の重要な条件となることが考えられ、施設としては対策を告知することが、結果的に集客にも繋がると考えられる。

また、観光地のにぎわいを求める声もあり、衛生対策と観光振興のバランスは今後の課題となりそうである。



「新型コロナウイルス感染症の旅行市場への影響」調査（リクルートじゃらんリサーチセンター調べ）

2020Withコロナマーケットと共に…

「コロナと共に生きる時代」「自粛期間中のライフスタイルの変化」により
「早期に戻ってくるマーケット」「戻りにくいマーケット」がある。

事象と背景

打ち手検討

① 早期回復マーケット

- ・リゾート旅（リピーター・自粛疲れ）
- ・一人旅、近親者との旅（密回避）

- ・防疫型観光（安全・安心）
- ・GOTOキャンペーン
- ・各自治体キャンペーンなど

② 回復が困難なマーケット

- ・出張マーケット（那覇のJNL予約の約6割が1人客）
- ・団体旅行

- ・ワーケーションによるロングビジネストリップ
- ・新しい「旅スタイル」の創造

③ 新たなマーケットの開拓

- ・国内富裕層マーケットの獲得；アウトバウンド（年間2000万人）の海外の代替
- ・ワーケーション
- ・新しい「旅スタイル」の創造

今ある「魅力」を活かし発信する。

じゃらん宿泊旅行調査
旅行経験者の生の声



先入観を捨てた魅力開発

潜在的なニーズの調査



可処分所得の高い独身女性



×



全体の18%が一人旅
(じゃらん宿泊旅行調査2020より)

ネイル；全体の8%
マツエク；全体の8%など

【仮説】

忙しい女性；平日は仕事。旅先で自分メンテナンス

新しい旅の
スタイルの創造

消費の【量】と【質】の増加

沖縄の社会的な【負】の解消

来る回復期に
向けた打ち手強化

社会の負に対する取組み

沖縄が抱えている課題

キャッシュレス



人材不足



言語対応

abc...

二次交通



課題解消により実現したいこと

地域住民
の理解

持続可能
な開発



沖縄の最大の強みは
地域の「協働」

であると思っております。

沖縄の魅力を更に発信するためには
これからも力を合わせて
地域を元気にしていきましょう

**沖縄県の地域活性に関するお問い合わせは
沖縄担当エリアプロデューサーにお尋ねください**

株式会社 リクルートライフスタイル沖縄

T E L : 098-860-5755

